

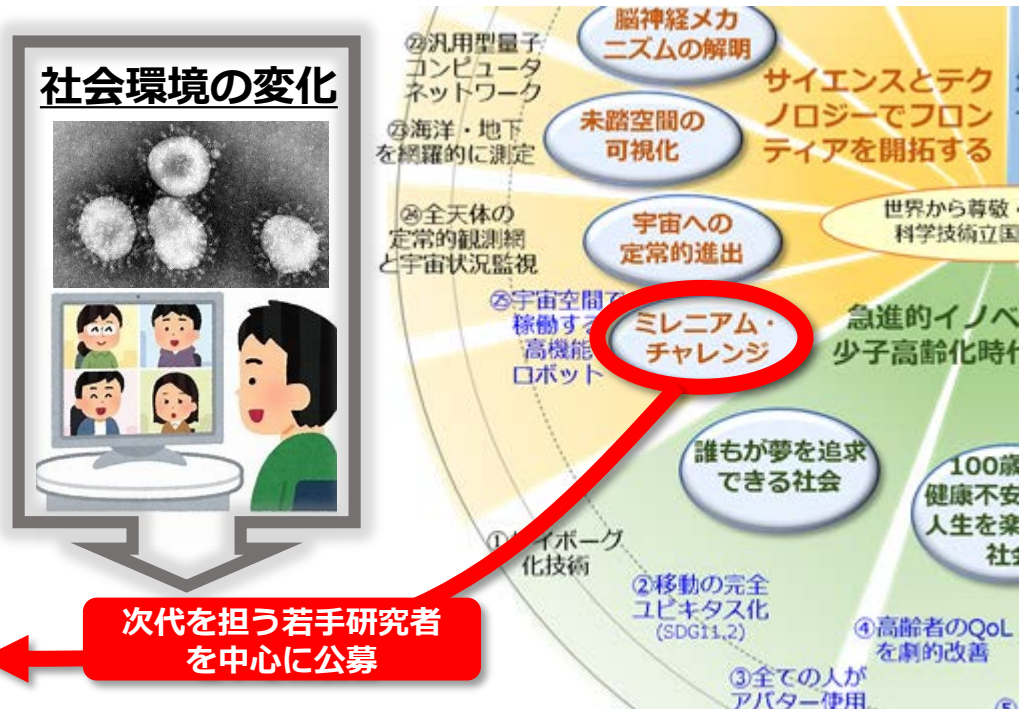
新たなムーンショット目標の検討の進め方

- ムーンショット型研究開発制度では、超高齢化社会や地球温暖化問題など重要な社会課題に対し、ビジョナリー会議の提案等も踏まえ、人々を魅了する**野心的な目標を国が設定し、挑戦的な研究を推進**。
- 同制度では、**社会環境の変化等に応じて目標を追加**することとしており、**コロナ禍による経済社会の変容を想定し、我が国の将来像に向けた新たな目標を検討**。

ムーンショット目標

- 目標 1: 2050年までに、人が身体、脳、空間、時間の制約から解放された社会を実現
- 目標 2: 2050年までに、超早期に疾患の予測・予防をすることができる社会を実現
- 目標 3: 2050年までに、AIとロボットの共進化により、自ら学習・行動し人と共生するロボットを実現
- 目標 4: 2050年までに、地球環境再生に向けた持続可能な資源循環を実現
- 目標 5: 2050年までに、未利用の生物機能等のフル活用により、地球規模でムリ・ムダのない持続的な食料供給産業を創出
- 目標 6: 2050年までに、経済・産業・安全保障を飛躍的に発展させる誤り耐性汎用量子コンピュータを実現
- 目標 7: 2040年までに、主要な疾患を予防・克服し100歳まで健康不安なく人生を楽しむためのサステナブルな医療・介護システムを実現
- 目標 X: 新たなムーンショット目標**

ビジョナリー会議提言/13のビジョン



「社会環境の変化や科学技術の進展等に応じ、必要と認められる場合は、技術的な実現性に関する評価を行い、国内外の見解を聴取した上で、CSTIはMS目標の追加・変更等を行う。」（運用・評価指針より）

"Moonshot for Human Well-being"
(人々の幸福に向けたムーンショット型研究開発)

R2.7	8	9	10	11	12	R3.1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
CSTIでの議論	目標検討チーム公募			チーム審査		各チームでの調査研究・国際WS開催・IR作成				公開審査会 CSTIでの議論	PM公募			書類・面接審査			
方針決定				目標検討チーム選定						目標決定・PD任命							PM採択